



まんだらげ

Vol. **59**
2022 WINTER



高野山 根本大塔（高野町）

Contents

- 特集 1** ……糖尿病の悪化を予防する
特集 2 ……「食べにくい! 噛みにくい! 飲みこみにくい!」
～歯科口腔外科での取り組み～
就任挨拶 ……腎臓内科 教授 / 神経精神科 教授
Topics ……仕事と治療の両立支援について
卵円孔開存症(PFO)に対する治療
特定行為研修修了式の開催及び今後の活動について
Information ……病棟保育士活動紹介 / げんき開発研究所報告会
最新の医学・医療カンファランスのお知らせ

広報誌「まんだらげ」の名称について

和歌山を代表する江戸時代の外科医・華岡青洲が全身麻酔薬として用いた植物「曼陀羅華(まんだらげ)」から引用しています。花に「医」の文字をデザインしたものは、本学の校章にも採用されています。

理念

私達は安全で質の高い医療を提供し、地域の保健医療の向上に貢献します。

基本方針

- 1 患者さんとの信頼関係を大切にし、十分な説明と同意のもとに、安全で心のこもった医療を行います。
- 2 高度で先進的な医療の研究をすすめ、その成果を反映した医療を行います。
- 3 豊かな人間性と優れた専門技術を持った医療人を育成します。
- 4 和歌山県の基幹病院として、地域の保健医療に貢献します。

糖尿病の悪化を予防する

糖尿病とは

糖尿病は、血液中のブドウ糖が多くなり、この高血糖状態が続くことによって、全身のあらゆる血管が障害される病気です。

私たちが食事を摂ると栄養分としてブドウ糖が消化管から体内の血管に運び込まれます。この血管内のブドウ糖は、膵臓から分泌されるインスリンの働きにより、肝臓・脂肪・筋肉などに取り込まれエネ

ルギーとして使用されますが、糖尿病では、インスリン分泌が低下していたり、インスリンの働きが悪かったり（インスリン抵抗性）して、血糖が正常値まで下がりません。放っておくと、この高血糖がさらにひどい高血糖を引き起こします。その結果、下記のような糖尿病合併症が現れてしまいます。

糖尿病合併症について

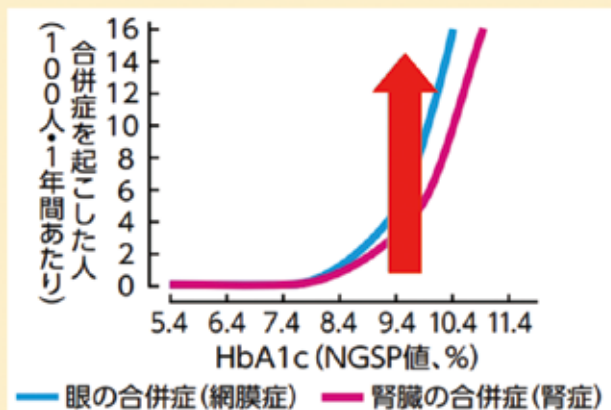
高血糖の状態がつづくのと体の様々な血管が障害され、日常生活に影響が出てきます。これを糖尿病合併症といいます。主な糖尿病合併症としては網膜症（目の異常）、腎症（腎臓のはたらきの異常）、神経障害（神経の異常）、大血管障害（心筋梗塞、脳梗塞、

足の壊死など）があります。

糖尿病治療の目的はこれらの合併症を予防することにあります。そのためには血糖値を適切に管理すること、糖尿病に併発しやすい高血圧や脂質異常を改善させることも有効とされています。

■血糖コントロールと合併症

HbA1c[※]が7.0%を超えると
眼や腎臓の合併症につながります



Ohkubo Y et al. Diabetes Res Clin Pract. 1995; 28: 103-17(Kumamoto Study)

※ HbA1cとは検査前1~2か月間の平均的な血糖値の指標となる血液検査の項目です。

網膜症

[中途失明の原因の第3位] [非糖尿病と比べ2~4倍の頻度]

狭心症・心筋梗塞

腎症

[血液透析の原因の第1位] [非糖尿病と比べ3~6倍の頻度]

脳梗塞

神経障害

[足のしびれ・痛み・感覚の異常] [下肢切断の原因の第1位]

末梢動脈疾患 (PAD)

(図1) 血糖コントロールと合併症



患者さんの未来のための糖尿病治療戦略

生活習慣病である2型糖尿病の方では糖尿病になる前から既にインスリン抵抗性やインスリン分泌低下が始まっています。インスリンが効きにくい分、膵臓がたくさんのインスリンを分泌しようとしますが十分なインスリンを出せない状態であるため、高血糖が疲れた膵臓をさらにくたびれさせてしまい（糖毒性）、糖尿病が発症、悪化していきます。

適切な治療方法が選択されないと膵臓が早くに疲れてしまい、最終的にはインスリンの分泌ができな

くなってしまいます。

最近、糖尿病の治療薬の進歩は目覚ましく、治療の選択肢がどんどん増えてきています。私たちは、患者さんが将来にわたって糖尿病の治療を楽に、上手に続けていくことができるよう、まだインスリンがしっかり出ている早期から適切な治療方法を提供して、糖尿病への理解も深めてもらいたいと考えています。

最先端の IT 機器を活用して診療しています

インスリンを出す細胞が自己免疫により廃絶してしまう1型糖尿病や、インスリンがかなり出にくくなった2型糖尿病では、インスリン治療が必要となります。このような患者さんには良好な治療のため、そして安心・安全のために自宅でも血糖値を測ってもらいます。自己血糖測定は、指先からの血液を用いて測定する方法が基本ですが（図2,3）、血糖調整が難しく頻回にインスリンを注射している患者さんの場合、上腕に専用のセンサーを装着して24時間連続で血糖の変動をみる検査（図4,7）も実施可能です。これを使えば、食後や深夜の高血糖・低血糖を簡単にみつけられ、よりこまやかに血糖値を調整できるようになります。入院時の治療薬選択にも応用しています。

また、1型糖尿病患者さんのようなインスリンがほとんど出でおらず、睡眠時などにインスリンの必要量が変化するような調整の難しい方の場合、インスリン投与量を予めプログラムできる小型の機器を使って、持続的にインスリンを皮下注入するインスリンポンプ療法（図5）もあります。

さらに、入院中の重症患者さんの血糖管理やインスリン抵抗性を検査するために人工膵臓を用いることもあります（図6）。



（図2）自己血糖測定



（図3）インスリン自己注射



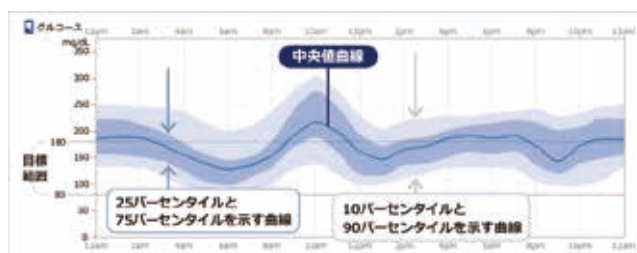
（図4）連続自己血糖測定器



（図5）インスリンポンプ

（図6）人工膵臓

（図7）血糖値の推移をコンピューターで解析



「食べにくい! 噛みにくい! 飲みこみに」

ヒトが生きるためには、食べることは必要不可欠です。食べることは、生命維持に欠かせない必須の栄養素を摂取することだけが目的ではなく、心をうるおすためのものでもあります。豊かな生活の営みに大きな役割を果たす食べるという行為において、その始まりとなる口の中 (= 口腔 (こうくう)) の機能はとても大切であり、この口腔機能を回復、維持させることが歯科口腔外科の役割です。

ヒトが食べ物を口から食べて飲み込み、胃の中に入るまでの一連の過程を、「摂食 (せっしょく)」といいます。このうち、食べ物を飲み込んで、胃の中へ送り込む段階は、「嚥下 (えんげ)」といいます。

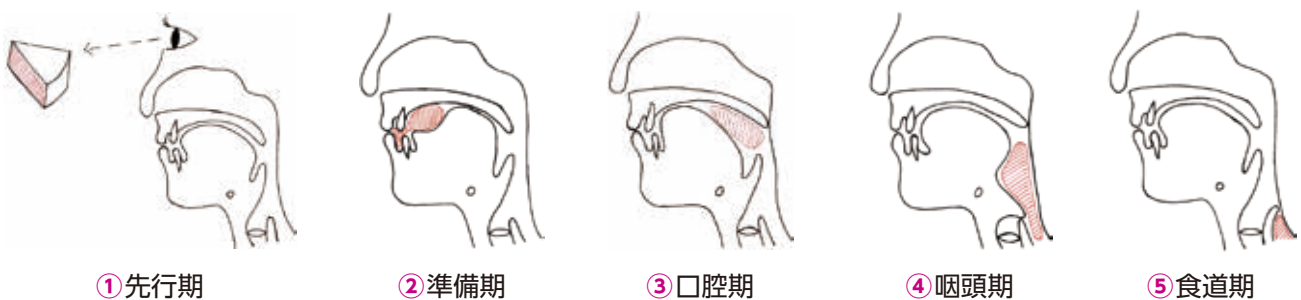
この摂食と嚥下には、

- ①食べ物を食べ物と認識することから始まり、
- ②食べ物を口腔内に入れて噛み砕き (=咀嚼、そしゃく)、
- ③咀嚼した食べ物を、のど (=咽頭、いんとう) に送り込み、
- ④咽頭から食道に、
- ⑤食道から胃に送り込む

までの5段階の過程があります。

この過程のいずれかに異常が生じたものを、「摂食嚥下障害」といい、「食べにくい」、「飲み込みにくい」、「ムせる」といった症状が典型的です。

上記の5段階の過程は、嚥下の5期モデルといわれます (図1)。



(図1) 嚥下の5期モデル

1 先行期

視覚や嗅覚から、食べ物を食べ物と認識する時期で、口に運ぶ前の段階です。

2 準備期

食べ物を口腔内に入れ、咀嚼する時期で、歯や舌で食べ物と唾液を混ぜ合わせます。

3 口腔期

混ぜ合わせた食べ物を、咽頭へ送る時期です。

4 咽頭期

混ぜ合わせた食べ物を、咽頭から食道へと送る時期で、飲み込む瞬間に気管が閉鎖されること (= 嚥下反射) で、食べ物は気管に入らず (= 誤嚥せず) に、食道へ送られます。

5 食道期

食べ物を胃へと送る時期です。

くい! ~ 歯科口腔外科での取り組み ~

当科での取り組みについて

咀嚼や摂食嚥下障害の対応には、摂食嚥下のリハビリテーションが必要になってきます。医師や歯科医師、看護師、歯科衛生士、言語聴覚士など、多職種連携が必須であり、それぞれの専門性をいかしたチーム医療が行われます。当科では、そのようなチーム医療において、かみ砕くという咀嚼を中心とした、口腔機能を維持し改善する分野を担当しています。

歯が欠損して、噛みにくいことによる摂食嚥下障害に対しては、入れ歯 (= 義歯) などの作製や修理を行い、噛めるようにすることで、口腔機能を改善し、摂食嚥下障害の改善につなげます。(写真1)

また、舌や軟口蓋 (口腔の上後方にあり、のどの入り口に相当するやわらかい筋肉組織) の機能が低下した摂食嚥下障害の患者さんに対しては、特殊な入れ歯のような装置を作製して対応することがあります。



(写真1) 入れ歯

一例として、舌接触補助床 (Palatal Augmentation Prosthesis:PAP) があり、これは舌の機能が病気や手術で低下したり失われた場合に、その機能を補う目的で使用されます。上顎に装着し、歯が無い患者さんには人工歯がある義歯の形態となり、歯がある患者さんには人工歯がない形態となります。(写真2)

また、軟口蓋の機能が病気や手術で低下したり失われた場合に、その機能を補う目的で使用されるものとして、軟口蓋挙上装置 (Palatal Lift Prosthesis:PLP) があります。これも上顎に装着します。(写真3)

これらの装置は、低下あるいは喪失した舌や軟口蓋の機能を、即時的に補うことができますが、装置の装着で完了ではなく、装着後のリハビリテーションや装置の調整がとても重要です。

このように、当科では口腔機能を回復させ、維持することを主眼とした取り組みを行っております。

「食べにくいな」、「飲みこみにくいな」と感じたら、ぜひかかりつけの医療機関へご相談をしてみてください。



(写真2) 舌接触補助床 (PAP)



(写真3) 軟口蓋挙上装置 (PLP)

慢性腎臓病(CKD)の克服に向けた予防・治療対策に取り組む



腎臓内科学講座
教授 荒木 信一

令和3年10月1日付で、和歌山県立医科大学腎臓内科学講座 教授を拝命いたしました。謹んで県民の皆様にご挨拶を申し上げます。

腎臓は、生命活動に必要な体内環境を一定に保つように様々な調整を行っている臓器です。何らかの原因で腎臓の機能が低下する、あるいは蛋白尿・血尿といった尿所見異常がある場合、慢性腎臓病(CKD)と呼びます。慢性腎臓病が進行しますと、体に有害な老廃物などがたま

り透析療法あるいは腎移植が必要となります。現在、糖尿病・高血圧・肥満などの生活習慣病を原因とする慢性腎臓病(CKD)患者さんが増加してきています。また、ご高齢の慢性腎臓病(CKD)患者さんが増えてきていることも特徴です。腎臓内科では、慢性腎臓病(CKD)に対する最新の治療を県民の皆様にお届けできるように努めて参ります。そして、多くの県民の皆様が慢性腎臓病(CKD)を知っていただき、他科の先生、地域の先生、薬剤師、栄養士、理学療法士、行政の方々と密に連携をとり、慢性腎臓病(CKD)の克服に向けた予防・治療対策に積極的に取り組んで参ります。

経 歴

平成2年3月 滋賀医科大学 医学部医学科 卒業
平成2年4月 滋賀医科大学 第三内科 入局
平成4年4月 洛和会音羽病院 腎臓内科 医員
平成5年4月 滋賀医科大学 大学院医学系研究科博士課程 入学
平成9年3月 滋賀医科大学 大学院医学系研究科博士課程 修了(医学博士)
平成9年4月 ダイハツ工業株式会社 滋賀診療所 所長
平成9年9月 ハーバード大学 ジョスリン糖尿病センター 遺伝・疫学部門 リサーチ・フェロー

平成12年9月 滋賀医科大学 第三内科 医員
平成16年6月 滋賀医科大学 内科学講座(糖尿病・腎臓・神経内科) 助教
平成22年12月 滋賀医科大学 内科学講座(糖尿病・腎臓・神経内科) 講師(学内)
平成28年8月 滋賀医科大学 内科学講座(糖尿病内分泌・腎臓内科) 准教授
腎臓内科診療科長・血液浄化部長 兼任
令和3年10月 和歌山県立医科大学 腎臓内科学講座 教授

診療内容

血尿・蛋白尿などの尿所見異常、浮腫(むくみ)、高血圧、電解質異常などの身体所見・検査異常の診断・治療から、ネフローゼ症候群、急性・慢性糸球体腎炎、造影剤・薬剤などによる尿細管間質性腎炎、膠原病・血管炎・感染症などによる2次性腎疾患、糖尿病性腎臓病・高血圧・肥満など生活習慣病を基盤とした慢性腎疾患、多発性嚢胞腎などの遺伝性腎疾患、透析患者さんのシャントトラブル・透析合併症、腹膜透析などに幅広く対応しています。その他、血漿交換療法、白血球除去療法、吸着療法など各種血液浄化療法に対応して

います。

また、腎臓専門医、透析専門医による外来診療に加え、血液浄化療法を新たに必要とされる患者さんが、ご自分のライフスタイルに適した血液浄化療法を選択いただくための療法選択外来を実施しています。

2021年7月より、新たに維持透析療法を開始された方、あるいは合併症のため安定した透析治療が困難である方を対象として、本院13階に外来透析センターを開設しています(送迎サービスは行っておりません)。

和歌山における開かれた精神医療の展開を目指して



神経精神医学講座
教授 紀本 創兵

令和3年11月1日付けで和歌山県立医科大学神経精神医学講座教授を拝命いたしました。就任にあたり、ご挨拶申し上げます。

当教室の淵源は、昭和20年に創設された和歌山県立医学専門学校にあります。昭和23年の医科大学への昇格に伴い初代教授が就任され、私が第七代目の教授としてこの伝統ある教室を引き継ぎました。これからは、診療、教育、研究を短期および中長期的な視野を持ってバ

ランスよく行ない、微力ながら地域の精神医療の発展に尽力する所存でございます。

脳とところと身体は、各々が互いに大きく影響しあっていることが証明されつつあります。私は脳・ところ・身体の三位の相関の重要性に注目し「脳・ところと身体の三位一体の医療」を実現したいと考えています。また大学病院は、地域に根差した医療をより求められています。そのために、多職種との連携・協働を目指し、地域の診療所や病院はもとより患者会や家族会ともより緊密に連携し、開かれた大学病院、親しみと信頼に満ちた大学病院作りに努めて参ります。

経 歴

平成15年3月 奈良県立医科大学 医学部医学科 卒業
平成15年4月 奈良県立医科大学 精神医学講座 入局
平成16年1月 医療法人長尾会 寝屋川サナトリウム 精神科 医員
平成17年4月 奈良県立医科大学附属病院 精神科 医員
平成22年3月 奈良県立医科大学大学院 医学研究科 精神医学行動神経科学博士課程 修了
平成22年4月 奈良県立医科大学 精神医学講座 助教

平成23年7月 米国ピッツバーグ大学 精神医学部門 博士研究員
平成26年7月 奈良県立医科大学 精神医学講座 助教
平成30年4月 奈良県立医科大学 精神医学講座 学内講師
令和2年4月 奈良県立医科大学 精神医学講座 講師
令和3年11月 和歌山県立医科大学 神経精神医学講座 教授

診療内容

現代社会において精神疾患は児童から青年・成人、また高齢者まで幅広く認められます。当科では、精神科のプライマリーケアから高度な専門的医療サービスの提供まで広範囲な領域を対象と



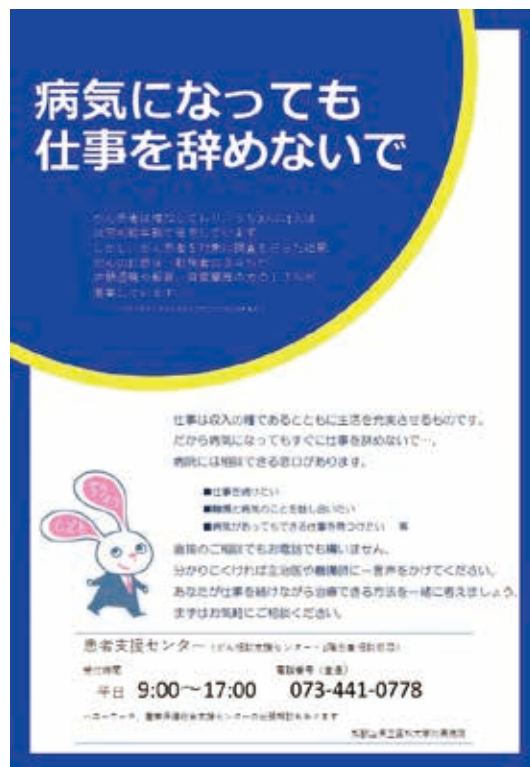
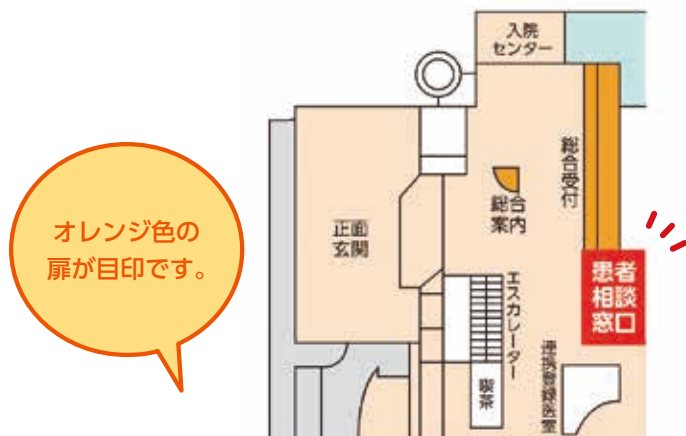
して診療を行っています。主な対象疾患としては、統合失調症、気分障害、神経発達症をはじめとする精神障害全般、要手術・要透析患者、妊婦および摂食障害などの精神科身体合併症、さらには認知症、てんかんなどがあります。これらに加えて、うつ病の復職支援プログラム（リワーク）、電気けいれん療法、クロザリル療法（難治性統合失調症を対象）、反復経頭蓋磁気刺激治療（治療抵抗性うつ病を対象）などの専門的な診療を実践しています。

仕事と治療の両立支援について

がん患者は年々増加しており、うち3人に1人は就労可能年齢で罹患していますが、厚生労働省の調査によると、がんの診断後、勤務者の34%が依願退職や解雇、自営業者の13%が廃業しています。仕事は収入の糧であるとともに、生活を充実させるものです。2階患者相談窓口では、国立がん研究セ

ンターの研修を受けた看護師と社会福祉士が、「がんと診断されたけど仕事を続けたい」「病気のことを会社にうまく伝えられない」「自分の症状、体力にあった仕事を見つけない」といった患者さんの相談を受けています。主治医、看護師、患者相談窓口にお気軽にご相談ください。

患者相談窓口のご案内



院内の掲示ポスターが新しくなりました

出張就労相談のご案内

がん等の疾病による長期療養のため離職・転職を余儀なくされた患者さんで就職を希望する方を対象に、ハローワーク和歌山の就職支援ナビゲーターが当院で職業相談及び職業紹介を実施しています。相談は予約制です。患者支援センターまでお電話をいただくか、病院中央棟2

階の患者相談窓口でお申し込みください。

また、和歌山産業保健総合支援センターと連携し、がん等の疾病により治療と仕事の両立支援を必要とする患者さんの相談も随時行っていますので、患者相談窓口までご相談ください。

【ハローワークの出張相談】

日時：毎月第1、第3火曜日（一人当たり30分程度。第3火曜日は当日申込可能。）

※その他の日時は応相談

予約：患者支援センター（073-441-0778）

卵円孔開存症(PFO)に対する治療

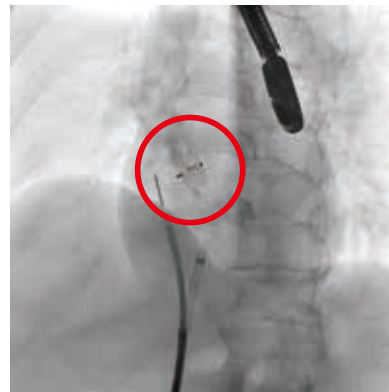
卵円孔とは心臓の右心房と左心房を隔てる壁（心房中隔）の間にある小さな穴のことです。通常、お母さんのおなかの中にいる期間は開存しており、出生後自然に閉鎖します。しかし成人に達しても4～5人に1人の割合で卵円孔が開存したままになっており、それを卵円孔開存症（PFO）と呼びます。通常は卵円孔開存症が存在しても問題にならないのですが、まれに、静脈に生じた血栓が卵円孔を通過して右心房から左心房に流れ込み、脳梗塞を起こすことがあります（奇異性血栓症）。その場合、脳梗塞の再発予防として卵円

孔を閉鎖する必要があります。従来は、全身麻酔で開胸を伴う外科的な卵円孔閉鎖術が行われていました。

本治療では、全身麻酔あるいは局所麻酔でカテーテルを足の付け根から挿入し、形状記憶合金から作られたメッシュ状の閉鎖栓を卵円孔まで導き、卵円孔を閉鎖します。手術後は少しの間安静にさせていただきますが、翌日からは歩くことも可能です。開胸を伴う外科的治療に比較して、患者さんの体への負担が少ない手術法です。なお、閉鎖栓は金属製ですがMRIの撮影は可能です。



県内で1例目の当治療を施行したスタッフ



閉鎖栓の挿入が完了したところ

特定行為研修修了式の開催及び今後の活動について

「特定行為」とは、本来医師が実施する医療行為を、研修を受けて専門的な知識と技術を身に付けた看護師が「診療の補助」として、医師の指示のもとで実施するものです。特定行為には、「気管カニューレの交換」や「脱水症状に対する輸液による補正」など厚生労働省が定めた38の行為があり、これらの行為を取得するために看護師は、「特定行為研修」を受ける必要があります。看護師は、患者さんの状態に異常があると判断した場合、まず医師に報告のうえ指示を受け、必要な処置を施しますが、研修を

修了した看護師（特定看護師）は、医師があらかじめ作成した手順書に則って患者さんの状態を判断し、必要な医療行為をタイムリーに行うことが可能になります。

当院も厚生労働省から指定機関の認可を受け、10行為の科目を開講しています。昨年度からの新型コロナウイルス感染症の影響で臨地実習が予定通り進められないこともありましたが、今年度は5期生13名が研修を修了する予定です。これに先立ち、令和3年10月15日に特定行為研修修了式を当院4階の大会議室にて執り行いました。今後はそれぞれの現場において、学んだ知識と技術を生かし、患者さんにより質の高いケアを実践していくことが期待されます。

また、本学では、特定行為研修を修了した附属病院看護師が実際に活動を開始するにあたり、ワーキンググループを立ち上げ、具体的な手順書などの検討を行いました。今後、実施マニュアルなどの整備を行い、院内でも特定看護師の活躍の場が広がっていく予定です。



小児医療センター(10階東病棟) 病棟保育士活動紹介

小児医療センター(10階東病棟)には、主に0歳から15歳未満の全診療科の子どもたちが入院しています。医師、看護師、薬剤師、子ども療養支援士、病棟保育士らが協力しながら、かけがえのないすべての子どもの『ゆめ』を支える医療、看護の実践をめざしています。

小児医療センターには病棟保育士が2名在籍しており、年齢毎に作成した年間指導計画案に基づき、遊びと発達の支援や入院生活支援などの保育業務を行っています。一人ひとりの成長過程に応じた遊びやプレイルームでの異年齢との交流などを通して、

子どもたちの主体的な活動や心身の発達をサポートしています。

また、入院中でも季節の移り変わりを感じてもらうため、毎年七夕や秋祭り、ハロウィン、クリスマスなどの行事を実施しています。病棟保育士が企画書を作成し、病棟内の飾り付けなどを行っています。院内施設の方や病態栄養治療部職員の協力も得て、ポップコーンや綿菓子など子どもたちに楽しんでもらう工夫をしています。今後も、子どもたちが『ゆめ』を持って前に進んでいけるように支援を行っていきます。



保育士
福居 操



小児病棟には赤ちゃんから高校生まで、また、いろんな病気の子子どもたちが入院してきます。「不安が少しでも和らぎ笑ってくれたら」と、たくさんの笑顔に出会えるように願って活動しています。入院していても「出来る」・「出来た」を増やせるように、また、退院後を見据えた関わり、発達段階に応じた遊びを心がけています。



保育士
中島 かおり



患者さん(お子さん)が、制限された入院生活の中で季節の行事を取り入れながら楽しめることを一緒に考え、前向きに治療に取り組めるようにすることや、思いがけない入院で動揺している家族の方が、付き添う日々の中で、少しでも休息をとり、リラックス出来るように心がけています。

手作りの壁飾り・誕生日カード



プレイルーム



げんき開発研究所報告会～東京2020パラリンピックを終えて～

本学みらい医療推進センターげんき開発研究所は、令和3年11月23日（火・祝）にフォルテワジマ3階多目的ホールにおいて、「東京2020パラリンピックを終えて」と題し報告会を開催しました。

みらい医療推進センターでは、従来から障害者スポーツ医学に関する研究を活発に行っており、平成25年度から文部科学省の『障害者スポーツ医学研究拠点』に指定されています。特に障害者アスリートの競技力向上を目指した医学サポートに力を入れ、今夏に開催された東京2020パラリンピックにおいても様々な支援を行いました。今回の報告会では、パラリンピックにおける活動を含め、げんき開発研究所での取組について紹介しました。

報告会は、梅本安則げんき開発研究所長の司会で進行しました。

まず、日本パラリンピック協会運営委員でもある田島文博みらい医療推進センター長から「日本の障害者スポーツと医学サポート」について、同大会のテクニカルオペレーションマネージャーである三井利仁げんき開発研究所副所長から「東京パラリンピックの運営・強化」について、それぞれ報告しました。



記者の質問に答える三井利仁副所長と登壇者ら



報告を行う指宿立特別研究員

また、日本パラ陸上競技連盟 前強化委員長の指宿立特別研究員から「げんき開発研究所パラリンピックサポート」について発表を行いました。

この発表の中では、げんき開発研究所のサポートを受け、パラリンピック陸上競技 100mT52 クラスで銀メダルを獲得した大矢勇氣選手のビデオメッセージが紹介され、また陸上競技 100mT54 クラスに出場した生馬知季選手からは「質の高いトレーニングができた」など、実際にトレーニングを受けて感じたことなどについて報告がありました。

この他 11 人が登壇し、パラリンピック選手に対するメディカルチェックや映像サポート、暑熱対策等の大会運営サポートなど幅広い分野での活動内容について紹介するとともに、げんき開発研究所での心理サポート、げんきトレーニング指導などの取組についても説明を行いました。

今後もみらい医療推進センターげんき開発研究所では、障害者アスリートのサポートを積極的に行っていく予定です。

最新の医学・医療カンファランスのお知らせ

本講座は、一般の方に最新の医学・医療情報等を提供し、教養を深め、健康や治療に役立てていただくことを大きな目的として開催しています。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、現在は Web

配信にて実施しています。1 か月に 1 回程度の頻度で、新しいテーマを配信しています。医学・医療に関する専門的な知識は必要ありませんので、興味のある方はぜひご覧ください。

申込み

不要

視聴方法

和歌山県立医科大学 YouTube チャンネルにアクセスしてください。

URL

<https://www.youtube.com/user/WakayamaMedicalUniv>

和医大 YouTube



予約センターからのお知らせ ～診察予約のご案内(初めて受診される方)～

当院の外来受診は、原則として「予約制」とさせていただいております。
ご予約は、できるだけかかりつけの医療機関などから FAX でお申し込みください。

■医療機関からのご予約

- ① かかりつけの医療機関などから当院所定の「予約申込書」にて患者支援センターに FAX 送信してください。
- ② 20分以内を目途に予約をお取りし、予約日時・医師名を記載した予約票を発信元の医療機関に FAX 返信いたします。
- ③ 予約当日は、予約票・紹介状・保険証・診察券(受診歴のある方)をご持参のうえ、外来受付に直接お越しください。

患者支援
センター

FAX番号: 073-441-0805
受付時間: 月・火・水・金 / 9:00～19:00
木 / 9:00～17:00
(土・日・祝日・年末年始を除く)

■ご本人からのご予約

- ① かかりつけの医療機関などで紹介状をご用意ください。
※特定の医師による診療をご希望の場合は必ず「〇〇科 〇〇医師」と明記した紹介状をご用意ください。
- ② 「当院予約センター」に直接お電話ください。
- ③ 予約当日は、紹介状・保険証・診察券(受診歴のある方)をご持参のうえ、外来受付に直接お越しください。

電話予約
センター

電話番号: 073-441-0489
受付時間: 月～金 / 8:30 ～ 16:00
(土・日・祝日・年末年始を除く)

※電話だけでなく9:30～17:00まで院内の予約窓口も開設しています。

待合番号アプリのご案内

「病院待合番号」アプリのインストールにより会計の計算完了済みの番号や外来の順番をスマートフォンでご覧いただけます。食堂・コーヒーショップ・喫茶店、駐車場でも順番を確認できます。下記からダウンロードの上、ぜひご利用ください。

アプリの
ダウンロード



スマパ

検索

QRコードから
もしくは「スマパ」で検索して
インストールしてください。



患者さんの権利

当院では、受診される皆様が、以下の権利を有することを確認し、尊重します。

- 1 個人として尊重され、平等に良質な医療を受ける権利があります。
- 2 診療に関して、十分な説明と情報を受ける権利があります。
- 3 十分な情報を得た上で、自己の意思に基づいて医療を受け、あるいは拒否する権利があります。
- 4 他の医療者の意見(セカンドオピニオン)を求める権利があります。
- 5 個人情報やプライバシーを保護される権利があります。

※当院では、患者さんの安全を守ることを第一に診療を行っておりますが、他の患者さんや職員への暴力・暴言・大声・威嚇などの迷惑行為があった場合は診察をお断りすることや退去を求めることがあります。著しい場合は警察に通報いたしますのでご了承ください。

患者さんへのお願い

当院では、さまざまな医療を提供しておりますので、次のことを十分ご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

- 1 適切な医療を実現するために、患者さんご自身の健康に関する情報をできる限り正確にお話してください。
- 2 医療に関する説明を受けられて理解できない場合は納得できるまでお聞きください。
- 3 治療上必要なルールはお守りください。また治療を受けていて不安を感じましたらすぐにお知らせください。
- 4 すべての患者さんが適切な医療を受けられるようにするため、他の患者さんのご迷惑にならないようご協力ください。
- 5 当院は教育・研究機関でもありますので、医学生・看護学生などが実習や研修を行っております。ご理解とご協力をお願い申し上げます。

- 受付時間 午前8時50分～午前11時30分
- 再診で予約のある方は指定時間(予約票の記載時間)
- 休診日/土曜日・日曜日・祝日・年末年始(12月29日～1月3日)

※診療スケジュールは、ホームページからご覧いただけます。